

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【公開番号】特開 2006-150047(P2006-150047A)

【公開日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【年通号数】公開・登録公報 2006-023

【出願番号】特願 2005-121049(P2005-121049)

【国際特許分類】

**A 6 3 F 7/02 (2006.01)**

**A 6 3 F 5/04 (2006.01)**

**A 6 3 F 13/00 (2006.01)**

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 5/04 5 1 2 A

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 13/00 B

A 6 3 F 13/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 31 日 (2006.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

識別情報の可変表示を行う可変表示手段を備えた遊技機であって、

遊技者による操作が可能な操作手段と、

前記識別情報の可変表示に関連して実行される複数種類のモードのいずれかを実行するためのモード実行データが記憶されたモード実行データ記憶手段と、

前記識別情報の可変表示が行われているときにおいて、前記操作手段による操作を受け付けたときには、当該操作に応じて複数種類のモードからいずれかを選択するモード選択手段と、

前記モード選択手段によって選択されたモードを記憶するモード記憶手段と、

前記識別情報の可変表示を開始するときに、前記モード記憶手段に記憶されたモードに対応するモード実行データを前記モード実行データ記憶手段から読み出して実行するモード実行手段と、

前記操作手段による操作が受け付けられたときにその旨の報知を行う操作受付報知手段と、を備えたことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれかに記載の遊技機において、

前記モード選択手段によって選択されたモードを特定可能に報知する選択モード報知手段を備えたことを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれかに記載の遊技機において、

前記モード選択手段によってモードが選択された結果、実行中のモードとは異なるモードが実行されることとなった場合に、当該異なるモードが実行される旨の報知を行うモード変更報知手段を備えたことを特徴とする遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

識別情報の可変表示の表示制御を行う可変表示制御処理をコンピュータに実行させるシミュレーションプログラムであって、

前記識別情報の可変表示が行われているときにおいて、遊技者による操作が可能な操作手段による操作が受け付けられたときには、当該操作に応じて、前記識別情報の可変表示に関連して実行される複数種類のモードからいずれかを選択するモード選択処理と、

前記識別情報の可変表示を開始するときに、前記モード選択処理において選択されたモードに対応するモード実行データを、前記識別情報の可変表示に関連して実行される複数種類のモードのいずれかを実行するためのモード実行データが記憶されたモード実行データ記憶手段から読み出して実行するモード実行処理と、

前記操作手段による操作が受け付けられたときにその旨の報知を行う操作受付報知処理と、をコンピュータに実行させることを特徴とするシミュレーションプログラム。